

教学 IR 室 広報誌 *Bloomin'*



笠置山に沈む夕陽に包まれた中津川キャンパス



創立者が見守る新緑の瑞浪キャンパス

2023
June.30
Vol.1

発刊に寄せて

このたび『教学 IR 室 広報誌 Bloomin'』を発刊の運びとなった。関係する教学 IR 室を中心とした教職員の尽力に、本学の発展に大きく寄与するものとの思いから、心からの敬意を表したい。激しく変化し続ける VUCA の時代にあっては、どのような教育・研究を行っていけばよいのか判断が難しくなっていることは事実だが、こうした変化を恐れることなく、確実に対応し歩み続けていくことは重要なことである。しかしながら、ただ暗中模索に変化し続ければ良いのではなく、日々の教育研究活動を定量的及び定性的に分析することが必要不可欠である。本学の教学 IR 室は、大学の戦略決定や適切な業務執行に必要な情報を収集し、分析して利用可能なものとして学内関係者に提供する所掌を担い、これまでに実に 20 回を超える IR レポートを定期的に公開してきた。

今後はこれらをどのように教育改善に結び付けていくかが重要な課題であり、今回の広報誌発刊は、インナーコミュニケーション強化に向けた一つの起爆剤になることを期待する。

理事長 安達 幸成

本学の歴史



1962 年 12 月、学校法人中京学院の前身である安達学園が設置認可され、1963 年 4 月に中京高等学校が開学、そして 1966 年 4 月、「中京短期大学」が開学しました。現在の瑞浪キャンパスの校地に家政科 80 名、保育科 50 名の女子短大から本学の歴史は始まりました(注1)。



「『学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ』は学園創設者である安達壽雄先生が祈りと願いを込めて吹き込んだ絶対的魂」(注2)です。

「『学術』は学問へのあくなき探求心を、『スポーツ』はスポーツマンシップに象徴される

向上心とジェントルマンシップに象徴される公正な精神の重要性を強調し、徳育を土台とする個性伸張の人間教育をめざすもの」(注2)です。この崇高な理念の具現化のため、本学にまつわる先人や過去の出来事からも学び、学生にとって第二の家とも呼べる魅力ある大学運営のため全力投球しましょう。

いつも学生とともに～Here is second home for you～。

引用文献

1. 50 周年史誌編纂委員(2013)『学園のあゆみ—学校法人安達学園創立 50 周年記念誌—』p. 69. 学校法人安達学園
2. 和木康光(2000)『学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ—安達学園物語—』p. 13. 学校法人安達学園



Photo

50 周年史誌編纂委員(2013)『学園のあゆみ—学校法人安達学園創立 50 周年記念誌—』p. 86. 学校法人安達学園



本学は創立以来、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を掲げ、教育目的を達成する為の支柱として、学術とスポーツを位置づけています。創立者安達壽雄の実父梅村清光は、スポーツマンシップの意味を次のように述べています。「スポーツは、寧ろ結果の勝敗を目的としないで、過程のフェアプレーを目的とする。勝ち負け、上手い下手は眼中に措かず、正々と争い、最後まで、けんめいに努力して途中でくじけない精神、これはまた真剣な生活の発露でなくて何であろう。まさしく真剣な生活の発露である。スポーツは本校教育の理想の使命を全うしようとする努力の一つの現れである」と。

このような点を踏まえ、中京学院大学の運動部に所属する選手としての誇りや、在り方を示す心構えとしての道標として策定されたのが中京学院 PRIDE です。これによって運動部に所属する選手並びに指導者が、本学におけるスポーツ活動の意味をより深く理解し、理想の人材像に近づくと共に本学運動部員としての誇りの醸成につなげたいと考えています。

学長 林 勇人

5S とは？

Spirit of **P**laying fair フェアプレー精神
Spirit of **R**especting others 他者を尊重する精神
Spirit of **I**nnovating yourself 自己革新する精神
Spirit of **n**ot being **D**iscouraged 諦めない精神 (挫けない精神)
Spirit of **E**njoying all experience 味わえることすべてを楽しむ精神

What is 学長ワークショップ？

皆さんこんにちは！学長を務めています林勇人です。とりとめのない質問ですが、皆さんは中京学院大学の教育にはどのような特色があると思いますか。また本学をさらに良くするために何が必要だと感じていますか。

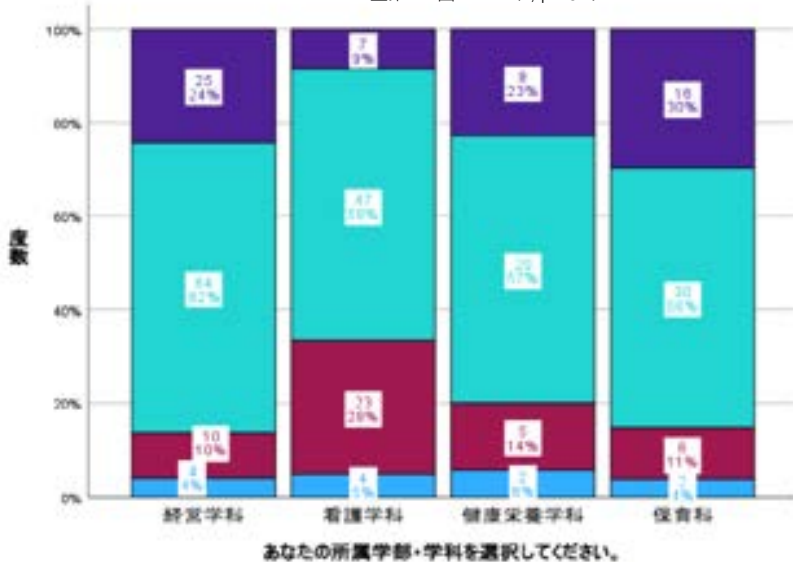
「学長ワークショップ」は、アクティブラーニング型の講義を通じて、学生、教職員との交流を図り、このような問いに対する様々な意見交換をします。これにより本学教育の理解と共感を深めると共に教育改善のニーズやヒントを集め、互いに協力してより良い大学づくりに向かうことを目的としています。

日頃の講義とは違ったリラックスした雰囲気の中、本学に対する多くの意見を伺いたいと思っています。一緒に楽しく学び合しましょう。皆さんのご参加をお待ちしています。宜しくお願いします。

《実施概要》

- 回数 年 4 回
- 時間 1 回 90 分～120 分
- 場所 中京学院大学瑞浪キャンパス、中津川キャンパス
- 講師 学長・中京学院大学教員・外部講師
- 内容 講義及び主体的、対話的で深い学び(AL)
- テーマ 「在学生から観た『本学の魅力・価値』とその進化・深化」
「学生による学生のための学びの場の創出と運営グループについて」
「学生が出席したい価値ある授業とは？その創意工夫とは？」
「大学での主体的・自律的学修のために必要な能力と入学前・初年次教育」





あなたの後輩の方が進学先を検討していたら、あなたは本学を薦めますか。

■ 強く薦めると思う
■ 薦めると思う
■ あまり薦めないとと思う
■ 薦めない

第21回レポート教職員座談会より(5/25開催)

- ・推奨傾向は上がっているが学生数は減少しているという矛盾に対して、入学して良かったと思える仕組みづくりが必要。
- ・「薦めると思う」→「強く薦める」に上がらない理由について、良い面は維持しつつ探っていけるとよい。
- ・項目ごとの満足度・推奨度を明確にしてその項目の推奨度を上げていくと目標設定する上で効果的なのでは。
- ・学科会等で学生の情報共有をしっかりと行い、役割分担をして対応、共有するという連携を図っていることは推奨度に関係しているかもしれない。
- ・大学の教員は研究のみならず、教育も評価されるべきである。

etc.

図2 各学科の推奨度

記念すべき第1回目のピックアップ分析は2023年4月に公開しました「第21回レポート」の「各学科の推奨度」です。第21回目のレポートの中でも触れていますが、各学科の「最上位回答割合(強く薦めると思う)」は前年度と比較し、大幅に増加しており、経営学科は9%から24%(約2.7倍)、看護学科は1%から9%(9倍)、健康栄養学科は4%から23%(5.8倍)、保育科は4%から30%(7.5倍)となりました。

この傾向は各学科の教育の改善の結果を示唆していると考えられますが、教学IR室ではこの要因まで分析していません。なぜ最上位回答の割合が増加したのかについては各学科の教職員の皆様の方がより現状や課題を把握していると思われるため、ぜひ各学科の関連する委員会で分析の継続をお願いいたします。

令和5年度の教学目標の1つに「推奨傾向の最上位回答割合50%」があります。今年度が始まり、もうすぐ3か月が過ぎようとしています。残りの期間で在学生が満足できるような取り組みを主体的に実施していきましょう!

クローズアップ講義

経営学部 教養ゼミ



2023.5.23 撮影

2年次開講科目、教養ゼミ A(前期)・教養ゼミ B(後期)では、今年度より中津川市内の事業所が直面している課題の解決策を学生自身が考え、提案していく取り組みを行います。

今年度は、(株)サラダコスモ、フカミファーム、(株)恵那金属製作所、(株)東海技研工業、中津川市社会福祉協議会、中津西まちづくり協議会の6事業所から協力を得て、5月末に多種多様な課題を提示していただきました。学生は今後、個々にどの事業所の課題に取り組むかを決定し、個人またはグループで解決策を検討していく予定です。この過程で、フィールドワークや事業所への取材も行われる予定です。

私たちはこれらの活動が、「東濃まるごとキャンパス」の実現、および、経営学部が新カリキュラムで掲げる「地域イノベーション」のモデルケースを担うと信じており、担当教員一同、熱意をもって尽力いたします。

経営学部 専任講師 熊本 淳

CHUKYO VOICE



～ 本学に関わる様々な人の声をお届けします ～

2016年に本学経営学部を卒業し、現在(株)恵那金属製作所にお勤めの島崎光之助さん。学生時代に行った会社見学で代表の方とのお話がきっかけで入社を意思を固め、今では新規プロジェクトの立ち上げに携わるなど、なくてはならない存在として活躍中の入社7年目の課長さんです!

本学での思い出は、サークルも何もなく自分一人で始めた学祭実行委員。委員長として皆を束ね、終わったときは大きな達成感を味わうことができたという。本学の学生には、自由な発想で様々なことにチャレンジしてほしい。自分自身は、夢をみるのではなく現実をみつめ、その中で自分のスキルをどれだけ活かせるのかということを常に考えているとのこと。教職員に対しては、学生に自立を促しパッケージ化したものをルーティン化するのではなく、ストーリーを紡ぎ成長につなげてほしい。Z世代の若者には場の提供が重要だと思うとのこと。

取材に同席していただいた代表取締役の市岡様からは「彼がいる



島崎光之助さん(2016年卒)

から将来に向けた仕事を任せられることができる。一人一人の長所を伸ばすことができるのは、中小企業ならではの強みです」という喜ばしいお言葉をいただくことができました。取材当日は、教養ゼミの講義で商品開発の為のプレゼンをしていただき、島崎さんに憧れを抱き、良い影響を受けた学生も多かったのではないかと感じたと同時に私たち教職員も負けてはいられませんね。

2022 年度後期の Good Practice は…

授業評価アンケートにて高評価を得たお二人の先生にインタビュー！

短期大学部 専任講師 荒井和樹先生

専門分野：ソーシャルワーク、子ども家庭福祉、ボランティア・NPO

研究室へおじゃますると、第一声が「工夫してますよ～」の清々しい一言。もちろん教科書も使用するが、今起きている社会問題の中から自分事として捉えることのできる身近な問題や、タイムリーな事件等を選んでワークを行う。たとえば人権侵害について学ぶとき、歴史を振り返りながら過去の偉人たちが残した資料を紐解き、そのとき歴史がどう判断したのかを学び、今起こっていることに結びつけてみる。事件等はテレビやネットで流れない部分を知ることではわからないことがみえてくる。福祉制度は毎年変わる → なぜ変わるのか → その制度がなかった時代まで遡る。といった感じで「福祉とは？」押し付けるのではなく、すべて関連付けて覚えていく。それが学びのおもしろさにつながる。また、学生達との関わりの中で、価値観の違いが新しい発見にもなっており、学生からもまた刺激をもらっていることがうかがえました。恋愛話は盛り上がるとのこと。

大切にしていることは、学問の自由を保障することはもちろん、まず学生のことを理解する。決して子ども扱いしないこと。



看護学部 准教授 小池正美先生

専門分野：臨床看護学、医療行動分析学、精神看護学

院生時代の指導教授からの「勉強はつまらない、学ぶのは楽しい」という言葉を胸に、学問に対して興味を持つことが楽しみにつながり自立できるよう、どうしたら授業が面白くなるのかを常に考えている。「なにそれ？どういうこと？」といったワクワク感を取り入れ、インパクトを与え続けるための授業準備には余念がない。睡眠導入剤にならないような工夫は必須。学術的な内容も知識が増えれば効力感も高まる。「大変だけどおもしろい」と思ってもらえたらしめたもの。

また「あなたならどうする？」という問いかけに、看護師としての感覚になる前の、一般人である今の感性を大切にその記憶を留めてもらうようにしている。

実習では、評価するために見守るのではなくやってみせることで安心感を与え、間違えることも今なら O.K というスタンスをとっている。と同時に、看護師の離職者が増加している近年、胆力を育てることも忘れない。褒めるだけでなく、最低ラインを示しそこまでは頑張ってもらおう。たとえ本人がきらめかけていても、そうではない人が周りにいることを伝え続ける。

看護師としてのキャリアが16年ある先生は、看護に携わったからこそこの出会いや経験を伝え、学生達の人生を潤わせてほしいという。

最も大切にしていることはフィードバック。何ができて何ができなかったのかを知ることで次につなげていくことができるため、授業外で時間を作り実施し、ほぼ全員が自主的に参加しているとのこと。

学生を自分の方へ引き上げるのではなく、学生のもとへおりにいく。それが小池スタイル。



教学 IR 室 最新情報

★2023 年 9 月 1 日(金) 9:30~13:00
第 2 回 合同 IR 研修会開催！

第2回 中京学院大学主催
合同IR研修会
2023. 9/1 (金)
9:30~13:00
(Zoom 開催)
参加大学
● 中京学院大学・短期大学部 ● 九州共立大学
● 九州女子大学・短期大学 ● 看護女子短期大学
● 文京学院大学 ● 愛知文教大学・愛知文教女子短期大学
TEL: 0573-66-3121

耳より情報

全国高校生 22 万人調査
都道府県別大学人気ランキング
岐阜県 (回答者数 8,778 人)
私立大学部門
中京学院大学 第 8 位
中京学院大学短期大学部 第 29 位
ランキングの詳細はコチラ ↓
学校経営アカデミー 5 月号 (第 52 号)

Bloomin' とは?

種を蒔き、芽が出て膨らみ花開くように、教学 IR 室の様々な発信が本学の発展につながるようお願いをこめてつけました。



編集・発行

中京学院大学

教学 IR 室 広報誌 Bloomin'

第 1 号 2023 年 6 月 30 日発行

〒509-9195 岐阜県中津川市千旦林 1-104

TEL: (0573)66-3121

URL: <https://www.chukyogakuin-u.ac.jp/>

E-mail: ir-room@chukyogakuin-u.ac.jp